

研究課題

次世代眼科医療を目指す、技術通信技術（ICT）/人工知能を活用した画像等データベースの基盤構築研究：眼底写真の診断に関する情報公開

1. 研究の対象

対象は 2007 年 1 月以降に眼科を受診した患者さんで、眼底画像写真撮影を受けた方です。

2. 研究目的・方法・研究期間

本研究は、医療の適正化、医学の向上を目的として、日本眼科学会が主導して、名古屋大学を含む全国の基幹病院から画像データならびに基本的な診療データを広く集める体制事業の一環として 人工知能(AI)を用いて、眼底写真から自動的に眼科の疾患の診断支援を行うプログラムを作成することを目的とします。全国の医療機関から眼底写真とそれに関連する情報を匿名化して収集する患者さんに侵襲や治療行為などの介入がない研究です。

本研究では通常の診療で収集された眼底写真データの収集を行うもので、研究のために患者さんに負担や危険を伴う検査や処置などを行うことはありません。またデータは個人を特定するための情報を削除して取り扱います。

データは日本眼科学会に集積され、眼科専門医が眼底写真の診断を行った後に、国立情報学研究所へ送付され AI 深層学習に活用され眼底の疾患の診断プログラムの作成を行います。データの収集やアクセスの管理については、国の医療情報管理指針などを参照にして厳格に行います。

研究期間は、実施承認日から平成 32(西暦 2020)年 3 月末日といたしますが、必要と判断される際には期間を延長することがあります。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

2007 年 1 月以降に眼科を受診した患者さんの眼底画像、診断名のデータを収集します。中でも、診断に重要な所見が眼底写真に含まれる疾患（緑内障、加齢黄斑変性、網膜血管閉塞症、黄斑上膜、黄斑円孔、糖尿病網膜症、中心性漿液性脈絡網膜症等）と正常眼底を中心に幅広く収集します。

4. 外部への試料・情報の提供

日本眼科学会への提供は暗号化されたデータを格納したハードディスクなどの携帯型記憶メディアもしくは、高いセキュリティを持った SINET という専用回線を介して送られます。匿名化された情報のため個人は同定されません。

5. 研究組織

研究代表者（所属・職名・氏名）

所属 公益財団法人 日本眼科学会
氏名 大鹿哲郎

本学研究責任者（所属・職名・氏名）

所属 名古屋大学院医学系研究科眼科学・感覚器障害制御学
職名 教授 氏名 寺崎 浩子

本学研究分担者（所属・職名・氏名）

所属 名古屋大学院医学系研究科眼科学・感覚器障害制御学
職名 准教授 氏名 伊藤 逸毅

所属 名古屋大学医学部付属病院

職名 講師 氏名 上野 真治

共同研究施設

筑波大学附属病院眼科	大鹿 哲郎
東京大学医学部附属病院眼科	相原 一
山梨大学医学部附属病院眼科	飯島 裕幸
福井大学医学部附属病院眼科	稻谷 大
名古屋市立大学病院眼科	小椋 祐一郎
鹿児島大学病院眼科	坂本 泰二
岡山大学病院眼科	白神 史雄
金沢大学附属病院眼科	杉山 和久
京都府立医科大学附属病院眼科	外園 千恵
九州大学病院眼科	園田 康平
京都大学医学部附属病院眼科	辻川 明孝
東北大学病院眼科	中澤 徹
神戸大学医学部附属病院眼科	中村 誠
大阪大学医学部附属病院眼科	西田 幸二
新潟大学医歯学総合病院眼科	福地 健郎
山形大学医学部附属病院眼科	山下 英俊
岐阜大学医学部附属病院眼科	山本 哲也
秋田大学医学部附属病院眼科	吉富 健志

東京慈恵会医科大学附属病院眼科	中野 匡
国立情報学研究所	佐藤 真一

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ただし、ご協力頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータが日本眼科学会に提供された場合には、データが匿名化されており、データから除けない場合があります。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋市昭和区鶴舞町 65

電話番号 052－744-2275

名古屋大学医学部付属病院付属病院 眼科

上野 真治

研究責任者：名古屋大大学院医学系研究科眼科学・感覚器障害制御学 寺崎 浩子

研究代表者：公益財団法人 日本眼科学会

理事長 大鹿哲郎